

木山中Spirit

益城町立木山中学校

平成30年6月5日

NO3 文責 河瀬清彦

激闘 256人の心よ ひとつに輝け！

今年の体育大会は、前日の大雨で、開催できるか大変心配しましたが、19日の朝には雨はあがり無事実施することができました。朝から、運動場の水たまりに砂を入れたり、スポンジで吸い取ったりと、職員と生徒が協力して準備をしました。これも、今年の思い出の一つになりました。今年も、各団長（赤団：●●●●くん、青団：●●●●くん、白団：●●●くん）を中心に、3年生の素晴らしいリーダーシップのもと、毎日の練習を積み重ね、全生徒の意識も徐々に高めてくれました。それにとともに、機敏な集団行動をはじめ、各競技、そして男子の組み体操、女子のソーラン節の演技もメキメキと上達していく姿を見て、感動と頼もしさを感じました。

大会本番では、2つのことを生徒の皆さんにお願いしましたが（「仲間と共に最後まで頑張り、練習したすべてを出し尽くし、益城町の復興に中学生として参加してほしい」「体育大会が実施できることに感謝して、笑顔で楽しんでほしい」というお願い）、多くの生徒が達成し、そして、今年一番の「思い出」をつくってくれました。また、生徒とともにグラウンドを駆け回り、大きな声援をおくっていた職員（特に担任の先生）の姿も見られ、本当に生徒と職員、保護者、地域の皆様と作り上げた体育大会となりました。

保護者の皆様も、朝早くからのご参観、応援、ありがとうございました。今後も、生徒の健全育成のため、職員一同精一杯頑張っていきますので、ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。



【体育大会の様子】

心のきずなを深める月間 「いじめ根絶講話」より

6月は「心のきずなを深める月間（いじめ根絶月間）」となっています。木山中学校では、この取組として、毎年、講話を行っています。本年度は、5月23日に3人の弁護士をお呼びして、弁護士の視点からいじめについての講話をしていただきました。

学校では、安心・安全な学校生活を送るために、先生からの話や指導を常に行っています。しかし、木山中学校でも、SNSのトラブル、いじめが起こっています。今回の講演を機に、再度いじめについて深く考えるとともに、みんなが楽しい学校生活が送れるよう、相手の気持ちを考えることのできる力を育て、「いじめ0」を目指してほしいと思います。

【生徒の感想】

○実際にいじめにあった方のことやクイズなどがあり分かりやすかったし、その人の気持ちになって考えることができたので、とてもためになりました。

○「いじめられている人に声をかけていじめがなくなった」との話を聞いて、勇気のある人になりたいと思いました。今回の話は、これからつながる話でした。

○何気ない一言でも、コップの水があふれる1滴になってしまうという話を聞いて、できるだけ早く気づいて止められるような環境を私たちでつくって、いじめのない楽しい学校にしていきたい。



【左から●●弁護士、●●弁護士、●●弁護士】



【質問もたくさんしてくれました】

最近、益城町でも不審者情報が多くなってきました。複数人での登下校、明るい道を通る、近くに民家やお店に助けを求めるなど、自分の命を守る行動がとれるよう、ご家庭でも話をさせていただきますようお願いいたします。

西宮市立山口中学校との交流会！

5月29日に、兵庫県の西宮市立山口中学校169名の生徒の皆さんと先生方が修学旅行の一つの取組として来校されました。その中でも一番は、ここ熊本地震の被災地を訪れ、防災や減災の意識を高めることでした。また、その目標達成の過程において両校の絆を深めることも大きな目標となっていました。

交流会のはじめには、お互いの緊張感をほぐすため、両校のクイズをしました。その後、30班の小グループに分かれ、「中学生としてできること」「日常での訓練・備え」「避難所での役割」をサブテーマとして意見交換を行いました。木山中学校の生徒は、悲しい熊本地震を体験していますが、貴重な体験でもあったはず。この体験をしっかりと自分の言葉で伝えてくれました。今回だけではなく、これから熊本地震から学んだことを伝え、益城町の防災リーダーとして活躍してほしいと思います。

最後に、両校の校歌と木山中学校は「旅立ちの日に」、山口中学校は「花は咲く」の発表で交流会を閉じました。見送りでは、木山中学校のメインストリートに全員が並び、山口中学校のバスを見送りました。山口中学校からはベルマークとPTAの皆様からの義援金をいただきました。ありがとうございました。

【生徒の感想より】

○交流会を通して震災のことについて、私も改めて学習することができ、初めて会った山口中学校の人に対して一緒に話し合うことができたのでよかったです。また、震災での思い出をしっかりと伝えることができたのと、話す力や思いを伝える力なども身に付いたと思います。

○兵庫県という遠いところからわざわざ修学旅行のルートを熊本に変更していただいたので、私たちは一生懸命、熊本地震の経験を話して山口中の皆さんがこれから起こるかもしれない、災害の時にどうすればよいか少しでも勉強になってくれたらうれしいなと思いました。



【●●生徒会長のあいさつ】



【クイズで緊張がほぐれました】



【30班に分かれての震災学習】



【震災学習の代表発表】



【両校からの歌の披露】

【木山中メインストリートでのお見送り】



【木山中・山口中生徒全員での記念写真】

「木山中愛」でいっぱい！ 地域ボランティアの●●様（津森）が運動場南側斜面の草を刈っていただきました。暑い日でしたが、前から気になっていたのと黙々と作業されている姿に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

